の質は合衆國の船砺一震に外な

明かであらう。殿野路窟の

大東配配手に固より、ヨーロツバ大東配配手に固より、ヨーロツバ

ベルトは驚慢にも日本人の存在をも自身である。物的生態力の意思、その感勢力、生態変が感要するい。て、反驳に紅刺してゐる。ルーズ、の戦略が行はれ得ないといることある。

もとにおかれてるなければならな

力の主義的、人的変因であり、生

助勢旅跡の服新殖化を**聞ること**で

のとほりである。それといふのも

出途行のためにはこの関係を除く

ることはいふまでもない。

獣の器貼が無けられることは周知 意味となつてゐる。生配増强の民

明かである。大田生商を育り、厳に対策しらる政策なくして現代、生商商保をも置らればならぬのでれ、計算機能にして有機的関係の技術を告め、大田生商を育り、厳に対策しらる政策なくして現代、思係代を議して生西的機能質の に名詞の計算が完全に修み合せされていた。

における日米の決職によって移局、料率

結成今次重数の兩大概は太平洋 郷は明かである。 をしかに

次大泉距撤争と欧洲戦争が根

しては戦争の終局が国まれ戦

ş

新秩序を置すべきものは日本であ あらう。すなはち世界政策継載の によって決定されると見るべきで

世界を放び、世界に

でしかし彼らは物神の影響を

日本は世界中の野娘に決定的な間であるこを忘れ

てあるのである。 の決定的要素が人 ある。物的取力に 離滿に際し聲明發表

鮮滿の提携强化

情報課題表でも月世五日午前十時)小磯明鮮和春は七月廿五日午前八時卅分新京尉返藤瀬に続し左の通り寂寞を憂衷したり

りず年前九時より伊能所長、その しい。 ではいて日曜日にもかくな のでは、 【隆陽紀話】 藤原行政 全黎原は前 藤原查察使 鐵所查察 日鐵輪両製

理所内の庶職室において前日午後は一時より五時まで風雨 大脈領ルーズベルトは廿三日新聞 【ベルリン台四日问题】アメリ

の狂人沙汰ルーズベルー

獨外務省反撥

配名例との意見でアメリカ空軍 苦しい宮路を行うたが、ドイツ外的を救ふために必要である」との 自爆を機器、「ローマ爆撃はシチ 然がは廿四日このルーズベルト やに作戦中の反隔軸軍將兵の生

督けふ歸城

の如何なる盟地機能もこれはソー酸は廿四日正午次の販売公職を験しまっていまっています。 【ロード二十四日園園】毎年司令 パレルモ撤退 伊軍司令部發表

まさに狂人の理論とも

英軍の進撃全く

中部に参助した英軍の一部と呼ったままは東部カタニヤ方面から ナリヤの販売につき廿四日次の通 歌物歌篇カール・プレクナ氏はシ 「ベルリン廿四日同盟」 ON B別

った、セントゴメリー関下の英 重點はやうやく西方に移るに翌 リヤ島における反福和軍作権の

福曲率の戦闘突破を企園、シチョンのではいる。

無戦線突破を企園したが弦大な撃ならびに厳険の揺聴下に福期

四機以上を撃墜

零陵、桂林を大擧連爆

ン島を頑强に死守

一、福興軍は全際にわたり敵と級

を全に他の病治二変ならびに由 種間一変に顕いるので、 類した 信用一層五千トンを歐流すると

最

リヤ原版局の中心は目下カタニヤラントックホルム廿四日间盟シテ

新

朝

\_\_の

六五合社の内容檢討 『決 戦 下 企業

本原南方にあり、モントロメリー 関下の変勢が面と環境にの面に 対象が起席で着えてあるが、メツシ 力を終を基めて着えたの方面に増 から多てるる場が型の抵抗は日を をあるる場が型の抵抗は日を 避らて風烈の度を加へてあ

Ħ

易業

決喩再

**戦**途編

產題成 増の

Ø 强新新

生問

朝

Ø

ける遊戯で補ふ方針とみられる

る概認に有力な反力を展布し襲、、撃となれば既原郷地とよる機構をあるが記述エルビーニ附近に至との撃さに限られてゐるが取襲の八章はごと敷日間カネニやのタニア地區における取開は偵察

船舶四隻擊沈 の猛威 樞軸潜水艦

刊新

朝

工業。 川合

彰武著

額會決

Take . i a to ...

な相撲道

言鬼振りを左の如く仰へてゐる ージャの情報」と関し反映画の一

ハネスプルグ 愛行の 英学紙スタ アエノスアイレス十三日同盟 個へるところにと 関数報道によればでントゴスリ 開放報道によればでントゴスリー 軍は風棚東の選抗を非除して おきを住職しておさもののハーマン・データン・データン・データン・データン・ ア 日本の 日本の 1 日本の 1

[年スコー廿四日间盟] スターリン質相は二十四日赤軍郷司令官として東部戦級に血みどろの死闘を

通動の圧を悪ばれ、ロツキード、 エルス市の 交通労働者 ロサン ジェルス 外班=ロ プエノスアイレス廿四日同盟 口市非常事態宣言 か

自明である。レかもそのためには

## 究極するところ

炎の生態地域の最も観視なること、近は腹時計変態態の技態時間寒でのためにはもらうん影響感の動物を監断がなの、決策に必要な破事等はれればならぬのであって、このとめることが「大変中である。そ

動物國民の最高度の動物給付によばならぬ。

動物管理において徹底を聴くとこい。すなにち生態観路行上の根本

な戦争手段の可及的増展を図るこ そのためには何よりも決限に必要

とが最も緊張であるといふことは

て動勢の決敗階級の強化を聞るこ

たといふこともあらうが、同時に管理が徹底して行ばれねばならな 一つにはこれまでは動勢國民が散っことが根本条件でなければならの

かかられがためにには動物

る決戦を断ち扱かねばならない。

われわれは厳じて太平洋におけ

必需物質の供給も確保されればな<br />
・ 取時計畫經濟の技術的問題は<br />
・ 次至方法についての規則をも<br />
※ つ を受けたいところである。 みる。 全種の探望につき緊急性の をも近が繋切して動感的的量を をうん一方において圏尾の生活・一頭を駆うてはならなが。 ておけならぬが、特に前輩を である。 とればならぬが、特に前輩を

ヨーロツバ酸単は凝ソの死配が

のである。

しかし歌力は窓局人的資源の第一カの歌少、生態質杯の不自由等の

とわれくは当村とおける立年男 ことが取時の要はである。それ故

克

に失ばれてゆくことを訪れてある。既務な強力國内の生産に指うべき、止難倒差行上軍大関係を指かれば、関立と實行に高さを持することが、される飛行機と決に飛行士も大量、られい。しかもかくる生活最深の、めて重要であって、これを怠って、ず、かやうにして疑問医療的輩の は設明総行上軍大関係を開かれば、関立と置行に高空を押することがならない。すればお鹿時間後の統一まつ第一に形要である。 てねばならぬが、特に計量の技術

である。生面敷の成敗は究極するあることはいるまでもない。

以民の創意工夫に俟つところ特別 <br />
退本解題というく園民的勤勞物師の<br />
説が朝を終々反応できるできる。<br />
べとぎるべく、園民的勤勞物師の<br />
説が朝を終々反応できる。 って途行されねばならない。それ、それ故に勤勢管理の徹底を聞る しねばならぬのであるから、 は各種の感候件を見限して銀行さことは生動取終行の根本要件であ 砂っ

社会政策の政時的課題も示こへに 殊以明齡の場合動勞精神、 動勞 すなはち墨國勋労職の確立を とである •

ルーズベルトが日本人の存在を

観はおばならない。それはわが国、おける関連の観然精神の最高比較に出ているない。それはわが国、おける関連の観察特別なくためには部後に れくは皆然彼とその一家の存在、決定されねばならぬが、しかもこ

おいて動勢の決
歌似等の際立をみ

るがあるとい

ふことは人々によう

かる文世界の平和を敗援し、世界、磁するところ圏民の皷貨精神にか

赤色統弦において、狭に明解に、北軍等において話しく難くるとこ。族圖者の絶数的必要であるが、し て指摘されるとほりで、動勢態勢、共衆の新秩序を関しうる所以でも

銭五十四 ( (銀二科法)

八吉七一作の三南郎木湾

わおける日米の決職にようて終局を 湖が不可吹降件である。威争は死れる國民の動労精神の最高収象

は影響戦闘三百五十七百を三日東部戦闘。は地における

の快地経内当を大破した

激水磁により解放されたとい 【ベルリン廿四日同盟】総統大本 和蘭沖で海戦 但し認識の日時および場所は 大破 英快速艇四隻

日に跳ぶき廿三日またまたフナフチ島の米軍陣地を爆撃した町世日後寒した「フェノスアインス廿四日同盟」メルボルン疾艦=西東大平洋回顧観賞の今郎に日本師経顧際所出

ベナベナルも巨弾集中

「リスポン世四日回盟」メルボルン深端=西南太平洋四部間部での奇能は古四日日本間祭祀派がニニードニャミベ・ナベ・ナの「反「西・神・軍・基・地・を爆撃」と記憶表した

エノガイも猛爆シ来電・関南太平準の機関司令がは日本

ジャ島エノガイ入江における反樞軸軍師

送電京新

東航空部隊が廿三日ニュージョー

地を攻撃した配立日産家した

女軍 心の中にこそ弊せは住むなつてあても相互の心と 裏久雄山

は いまえる \*\* (特別) 特別はあ 職がのるる空景 でき別離 き美川きよ 士戰產增。山鉱

小説なった河あり

相撲公傷論大井廣介相撲適のために野山草吉相撲適のために野山草吉相撲適のために野山草吉 戦士部・龍取の黒羽葉双・妖変 記俵土鬬敢摰眞 龍 館文博 學後十九

對局使 策面命

局支城京社報新濟經洋東 四二七一三城京替报 • 町治明區中府城京

朝鮮産業の決戦再編。東洋經濟新報社編「朝鮮産業年報昭和十八年版」 決 輕地戰

朝鮮の決戦下企業態勢 地下資源と重化學工業の擴充 地下資源と重化學工業の擴充

## 來襲敵機三を撃墜 たほさらに〇〇家は関をひるがへ一日の同紙上において コニュージョ

【リスポン廿四日同盟】ロンドン ・タイムス紙類洲特派国は去るけ

英紙の報道

| ほかに米渕祭船、江陽船各一隻がルニヤ・スター號(八千トン)の

隊は猛烈に陸上より砲火を浴せその三機を撃墜他は逃走せしめた 爆骤機卅機、グラマン戦闘機廿機が來襲、これに對し我が海軍地上部

ナフチ島連爆襲

図鑑し來つてゆる。眠ら廿三日に後イサベル島、所在の我が基地に、敵機エスペーリ観れて寒寒を縁返へしつくあるな解はその持つ多感の航空足力を復居、凡ゆる発死能避難に対しり組れて寒寒を

を サンジェルス市に共和軍隊の到額 電音に飛激を行り切らの場合はロ 電音に飛激を行り切らの場合はロ の である。 同方面の極 サンジ

トイラ際性等を育容工額銀

譜

社秋春藝文 開始を表現では、 東部は海峡では、 高寒海佐工炭無戦 本 のは、の田夏 角 

東京郊外· 神山 潤 が大・ 神山 潤

死は音もなど・寺崎一の戦友高見一

浩 順

者のんが解大数山奥 — 家 一 階 愛 (1) 者のんが最思野東 — 子 父 力 協 (2) 館 文 博•目丁三町本溪本日京東 (銀二科送)

(版内市) 裕を有し得なかつたことは心疑り 10海内に至るまで人和溢れ、

場方面に良り酸解を遠ぐるの除 既に一班を以

常尺

されつ人気々意気的の人々が関係下ので、次に態國際別れている。

安に飲る歴度なる研究 ・接見、開発の衆を関 局への高速 日本一個

られたる御原衛に関し森崎の原を 国民各方面より一行に對して客せ 四觧御館への仰觑区上であつた。当回訪場の第一目的は昆帝陛下 日温湖脈解録すに方り流在中 特に來る「引・」

の資格、本策を十分に自襲し、 があることに関して大に都を安 了解して時島の現在間で成い、一般多の興風にようて表演さるる術の形式を 大手のものであるが、主義的能 と呼ばる本族が関人民としての己 大変部は日本人であると同様に 「大変部北方像の中間に目飾して 「大変部北方像の中間に日飾して 「大変部北方像の中間に目飾して 「大変部北方像の中間に目飾して 」、「大変の部別にようて表演さるる術 

武官、花輪大使館鄉居官、湖州國服

も置い獅手を交し嚴重後も最後がを返へし特に服國務願理とは何何 **潮**理、各部大臣、錦稿、三宅協和曹

見えなくなるまで別れを借んでゐ

断岐の途についた

-145 -

沙池 十機以上を響隆職を ともに挑戦して來た敵 機と変戦その

からを

みるで一路開催の途についた この間地所は廿三日には四國朝

日今次が第の使命を離りなく多へ では去る廿一日夜入京以來湍京三

【新京特施廿五日發】小殿胡熊勳 | 廿五日午前八時廿分第京第『のぞ 三日間に多大の足跡

競優医所御視祭の命書を

GO基地は四目同盟」十三日や が航空部隊は大都の航空部連盟 を組費隊に約5分率したが、は四 を組費隊に約5分率したが、は四 を組費隊に約5分率したが、は四 多大の戦果を學げると 點零陵飛行場を脳裂 隊をもつて敵の重要球

おき、 の他に反復策略を取行、これを がし本版圏において、わが方 も顕微の選がを受けた

管官西·I 。 研建 建稿 P相 建福

消化促進

【〇〇基地特電 廿五日酸】ソロモン方面における航空版は縁遠の機能に基地場略に彼我入 上製 地上砲火猛然炸裂

月七年八十和昭 への概能取に関約さればならぬからである。特に中間に対いてからである。特に中間に於いていた。 攻略は関と共に猛烈を統めるが、政権のも飛城して敵策を対が、政権のも飛城して敵策を対し、政権のも飛城と関係が対象治せ管議機 開始した、既に打をれ取に払い 層に飛じて極似的間の層るとい 本館にして比別なる頃に町町と窓 方には戦の間洋戦、関係制が如う つかに水で開放を開び続日夕戦間 時四十分全頭組員の機能を記了し 手阪を搬し擦索しぞうじて午後四回してある船員を糾合すべく八方 脱基は層に服を決し野野で開路を は利威不可能と思めるるを得め、 マナい南海のながほの白む頃 に従って動配の強についた。明け に耐く間板に戻らが高れからすって、Emm、間板に関い間板に戻らが向から、終りに 関サーゼ年十一月十五日の間原料(じ程代が死生の間に成し減ぐまし)を発音し、終りに 「一般は、同様にで命令を持つ」 「一般にで命令を持つ」 〇〇流地に競された、〇〇丸はガダルカナル関係が弊長、〇前水域、飛行線の水脈を設に介せず完全に、と成に対りたがら表を関して前の地域のため原準と加えは止むなくと関して属世帯点と砂道を共にし原像・力機をフェけ、その根格はる際にと同く間でに飛行が終めた。所のでは、一つの場合はる際にと同じて現代に発行が終めた。「とないようないのでは、一つの場合はる際にと同じに関係された。」とないません。 院所明する予備を置して日本 開放と目別と政策を無して合品 いいのは土みでスペランス様 散機は突が解析ないで 宝は脱争への空近距離が約束さ の然伍者もなく大東前板財宗銘 組織の影響のあたへられた命令 | 出来現地時間常局とも関格を言う 、その場の所に出版版のの製造 のを救出しようと決定し分散戦 機銃排射・を行び機械無 ベランス卵方面へ向け移動を 船を振び暗然たる機特と沈み 、動物の個人でる体製のため日 )〇名の船員の前途を思ひ開始 火麻を加へ船員も船長の命令が高分の職を加へ船員も船長の命令 常聞したわが門祭削を異の相目が〇〇丸附長代理池田登一機関長(佐護院作品部)の手配として ガ島二ケ月の奮戰 寸鐵帶びず輸送に挺身 に到りラバウル〇の部隊在開邦語 前級市職の死婦は異に歴史の例み 四日間、外金町流井田の原場に決してれば十八日から廿一日までの 界世間週 として呼ぶひとりの老兵士である れたといる駆がした。 御加せよ。といる 此命を受けたと 数加せよ。といる 此命を受けたと つてあたったからの解釈明像で たいといふ気もちをかねてから特 私などは、自分が本路にどれくら一種傾息奏などが三名あるひは二名 ある。そこで、ペンを唯一の武器 者はペンの原土であると自負して するため二里も離れた帰知所信用 しく紋討さるべきである。然る き、なにか非常にいる機器に恵ま することが出来た。関軍のの南部 とによって、初めて完く月ブ酸の般相を正しく怒騰震視すると ちゅことであるが、所配は時間 9 もとより決敗生活は苦人の衣 船員魂を語る。池田船長代理手配 敬虔、靈山に合掌 れた、食見の内るか 西のピトラー、 ムのピトラー、 ム 野以来別八回目 ナカ目北部イター のヒトラー。 とついて緊密な 田中海湖南印度 てるたいが、最 の公安も行はれ 世 さ」 「世の〇〇の脚符を刷し併せて をの向配で 対し 感謝の宿を要 心頭いとであるには飛びない。かないとであるには、瞬に 以田忠、勝川長ならびに私が多加 金田でも 知識加するのであった。 と関表してある、供しながらシテ たい、自敗の結果に高く用歌であ が世身するに至つたことは、死 リヤ吸形はドイツ窓の斯の如き場 とローマ戦は裂じ、一方歌側の司 るが否かは判明しないが脅談の直 は家庭防煙のことなどに、婦人 あり、一方家庭に放ける主婦と 分に取めなければならぬことで リヤに向けて努られた更に射観のドイツ境接根がシチ ドイツ家がシテリヤに増照をして必要と 白雲の影に報道精神を鍛ふ 獨は依然東部戰線に重點 歌に物融るものである。 を対し、最も重製の消息を準 のがきは、最も重製の消息を準 ローマ初音場: 米突球形に関し直らに数策なる病! くかえる最劣な行動に出てあるである。 大きな (大きな) とうり、 ムツンソーニ 歌宮順書 まで 都度したといなれる。 町が今 であるかの (大きな) であるから (大きな) であるかの (大きな) であるかの (大きな) であるから (大きな) であるから (大きな) であるから (大きな) であるから (大きな) であるから (大きな) であるから (大きな) である (大きな) で 的谷部験長を初めの味気将兵は例 然も一回その中に趙栗の南足を はれた、無路は十九日の午前十日 に抗しきれず、形をモンペに見 りて時間への解解の所名とし、 樞軸巨頭會見 シチリヤ増援 £ が、結果はイタリー國民の歌門を一関国ならしめてゐるのは既に皮肉 と割びとが私選の腕をかすめた。 は、私服を築て入軍限に踏換へん じ物、形といる数になった。これ を問題した上で潜がなる白衣、同 刺たるものがあった 影響な影句に関じて、悪くきびし は六十年二つ三の魅した人がゐる これで四日間は神々のみ前に書め しかも、「既にも歌歌にも、生和説 い髪がほとはしる。着しといって の問題にして規御ある順度に立つ 色三十五歳の南年批長、治いたる らす者もあるやに見受けられる 母親が承知してくれぬことを担 部的なる単仕の決撃はあるが、 た家庭にある令職所扱にも、 世間で居かして知ってくれぬと 宿舍に 入って 。更衣の聲ひ に厳の大田隆調行と願を行つた しく極度の衆煙不良の結束物に、それでも期り果てた身に繋行うな、調と貧知の寒鳥始が耐寒に臨寒刺・今および食が寒気に破いない。 は一寒一寒、寒く散みメンボ 南するに位の寒煙不良の結束物に、それでも期り果てた身に繋行うな、細いさ気知の寒鳥物に耐寒して気気なる散力物。ずべく魚似の窓場の時にら寒をかれているが時日の寒の寒にのない。 の地域に対象しても気がなる散治。力を実発し、刻下の至上変調に加います。 これは即ち中が以上の家庭の への不平を通らす者もある。ま の間、やがて一合となり五円と 七隣理されてゐたが、もとも とこの男務院督官は純然たる 西原の持つ比重は刻々国味を の傍跡行政は従來呼 制限を設けることに 動所は内地の別に版 めるべく近く朝鮮語 なった。間して内地 つて明眸にも労務官 一般国リフト語る質問にからがみ、 大部分を内側投資機制容量について、 大部分を内側投資機制容量に 対象機関機関の受対人 よいよ 生産関系用重 はを除く 別郷政权の | 例)を設立、七月十五日上りその| 配給するといふおけで、従来資名| 例2杯に給株式資祉(武木金日岡 らにこれを顕著に襲してそれ・・ わた結果、今殿下伽機樹として精 往興飾りをくいつたときに、少年 の資本中級の特徴は地域的移動が、今回 **、そが前に沿着がした。** なかを難うて、石を踏みつくがほして、変を離して、なかを難うて、石を踏みつくがほして容蓋文を組置し、母 は場の起手、松樹と経常の動る なる決意を関めつゝ山谷を彷徨といふ既報があるなど一同悲壯 **| 無説することの出來ぬ弱版で** るのである。 の片田殿ではあるが、また、全 る形貌の微さが親国に協議され かも腹の形面などの場合、かく 関場の入口に張りめぐらざれた 以上任一所に過ぎぬ婦人情へ する新たな制度の必収が生じ 金茂が初の頭鹿の砂部が生だ して、生物増殖の路と所以工 して人力の動は題化を開始 気を密射線原すること、所度 となり、難ひ砂砂焼油を駆性 の生態的呼を挙げるため作戦 び個の促出或は飲金紙制等で 野脳岩の保護施督、脳利原生 社の政策的行政を劉察として あった、然るに時間の期限は、のぞれと広着しく中間を難に ゐるもので、從つてその所質 重要資材に快調 勞務官設置の 義とその使命 精機資材配給會社性能 本には、のは、かっている。 本には、のは、かっている。 本には、のは、かっている。 本には、のは、かっている。 本には、のは、のは、かっている。 をより、も度うだ。をの語りたでのでは、 が、本には、できることにある。 できることにある。 できることになる。 できることになる。 できることになる。 できる。 できる に野心園の一葉たり得る婦人と ペルス質の相の微文で、同立版相ス・ライト紙上に拡大されたゲツの紙について、明紫あるのは最近女 阪、名古屋の三菱高脈に保管、さから一搭脈入して、それを東京、大 倒れる者も数知れず、勝むもなのが、関もなく物は別れども手間の断なく使らに無念の原に関ぶのみである なく転々たる機に、海流があって をくだると、大小の否分はてしも は今回の京都作成の物画につき次 少く、至るところに包刷例成就が一宜所相の談話と悲聞を併せて 官の仕事は従来の野豚医野官 相共に進むことを忠願せずには とに測版なきやう相関に関まし せぬ管はないのであるから、先 展明されつつあることだらう、こ るられない。 して、決成生活を関めしめるこ 意 つものである。仕事の性質が ドイツ今回の作戦目的は地域のというではなくソ原軍主力を誘致してれた神が関係し、以つてそのを関係をはなくソ原軍主力を誘致している。 たいことは前材の原給に係って 在かことは前材の原給に係って 在がの回路に表って 在がの回路に表って たがっても変えてはれるにおい としてある、このやうな方法が 他の四門にも変次行ばれるにおっ いては認識その他権刻会材の配 任命できることにした。近く 放きの 労働者出 身でも、適 シテリヤ戦級と東部取締に対する 例へば本月五日から十二日までの 材の破壊及び肉鞭を瞬間してゐる 特別任用令の途が拓かれ生立 智に何ら 態験もない本來の投 れて來るやうになると工場生 斯の如く野魔塔の既由語に加 ることよと思ひつく、わたしも無へる際の、何とすがしくも張りあ ない、そこで、この制度には め必要と認められる一切のこ 成力を取る符分発揮させるた を大阪二千四百門、頭切にщへた 念無限の境地に入つて行つと もうちょろづくと天の散へ取を鳴 いつかゆなな、やあろくのたり、 め始へくと歌唱しっひとふたみよ 人だけでは、どうしてもその 大規模なる国際機能取が展開され 軍捕虜一萬八千、喧嘩及び肉煙せ とができる メーカーに向ってごを密促するこ して實際の入事がおくれる場合は が個々に問題なり特約店から購入 ・天津神、徳水神、はらひ給へ清 かまり で、方式に削り、その水に身を ひたした。 比部に開戦指揮の認みは免れ あるが、これを以てしてもいかに でなく、対象観察からの側弦に対 してゐた手腔きが省かれるばかり 監督だけにといまる子や監督 脚力の確保やそれに供ふ保証 ものがある、自然動物官に任むのがある、自然動物官に任 生招行動に関しても徹底的指生招行動に関しても徹底的指 の既任は極めて取かつ大なる 三回報は整理・重要接近を取行した。
同年の報道・重要接近・を取行した。
任務会員報山中佐、海道委員報合
少佐、同府明・15支行整の長の
・ なか日報酬報音はもびに中間が
正弦順名・日本の世間の登世の最高は
お と多数出席のもとに経過初に3
国際的を行った 郷に借らねばならぬので、そ 必要とするし、登戦政策の爲 務署の武侯政語に特別努力を に相々費用な示唆を既へるものと 海東型旅行ホテルにおいて第十二ととになり廿四日午後三時より上 れ來つたが軍はさらに未返還丁場たつて中國側正管欄利者に返溯さ 後の欧洲戦局の推移を判断する上 を質問したに對し頻度的局は 中二十四丁事を中國側に退還する すでに百六工場が過去十一回にわ 主職を表明したものであるが、今 は第る明瞭に発揮の東部散線重點 と述べたと個へられてゐる、これ を中國に移管 シチリヤ戦線といづれが拡大で現在の認品に於いて東征航殺と 世間上海で返還式

## 次編し来りまき日中は棒上から散 をれ岡敷に見郷はれ無窓到る方な 窓注数の髪剛粉解を行ひ後に残く き科袋であつた 地方行政に新構想 同CCビ東京・1月一日からO である。次いで一月世日生存域 の場合が必要が必要して後方十三 の場合が必要が必要してののでである。次いで一月世日生存域 のである。次いで一月世日生存域

〇だて数値に買ってガダルカナ 、ル配に含らばを告げた、関係の 型部に永遠に配る男士の英親が 必ずや頑強日本の勝利を関す日 の行きを確値レフラー

において株式の原盤と味式の図像の 一般はまた物とをとの均衡的

學徒動員論:劉 >四廟雞選門地方行政。刷新:號 >四廟雞選問

(=)

說社

決戦生活ご婦人の自憲

映版生活版底質繁煌告祭を執り

別を包んで來たのである。

に、更に一般職場方面は、水田 分野も顕大され、成は悪学館門

次版生活は二千五百萬同胞の四

たない。即ちける國民部力期約18之と、今日の祈く恋要なる政

野郎をなさねばならなくなつた ことはいふまでもない。まさに

の診断に伴ひ、婦人の信仰する。もとてり感覚し來れる世相る。もとてり感覚し來れる世相

であるか。最近歌力成階が指摘

の婦人の中には、口には時間へ

一般心中死以上心色は知識者

認って、不知不成の間に世間の 主殺は家庭中心主義の假而をか 消極性は原因と結びつき、個人

日本人は何人も新しき民族精神

を欲して起き上る。この間取機は

が エスペランヤ語の北端なるカメン エスペランヤ語の北端なるカメン

一口正百円

(説明意贈室) 電話 代表 ②一四、京城府黄金町二・

新中國の企業整備と資

一一山本 寶彦

……西谷頭兵衛

のである。斯くて関係野、湖水町

の気幅あれど腕す弱がない、唯必

敵は日に

日に増加し友権

の投資に記

付中

鏡十八·號月

あるといって祀らに敗怠して西一味を背にあへぎくの弦に従ふが

初失ひになる酒杯を辿つてゐる

の協力の展別はあるが、それを

ものとも見ることが出來る。レ

難もこの位大なる風吹きを呼吸 に目覚むべきであって、婦人と き体例を見るのは何としたこと って現欧の世紀に相反するが如

女心型 く 関係 英語版の ための 間もれた 今日、老いも若さも 男も

はれて来たのが一郎の婦人服で

上が筆は知識者の婦人と、かへ 然しながら、いはゆる中が以

は興興するにはりがある。 非常難にして非國民的なる際世

二島であるとも見得べくその

生好が、その消費所と個人主意

ある。たが然し、それが原題で

サログ海岸から前級まで破壊や間

とを提供する管理に外ならず、

に見の時間への関心に使くると ころあり、その協力の程度を疑い

の地域に対照して創業なる報用が対象が大きない、数下の至上要称に規定の地域に対照して創業なる報用が大きない、数下の至上要称に規 全國警察部長會議開催

地方に四分し各地方毎に地方行政が開発を収置、地方制度加速に向けるとともに、さ 戦力均隔と食品の増配を二大目標 れと依行して行政が門においても 勝法がおよび微粒を成立せしめこ 刷新聞化万策を開立して全國を九 **並行に割全を期するため地方行政** としてこれが間然するところなき 推成した

> わが内院がに つたり、対欧の

**絶戦隊に一大阪革がもたらされ** 在にも根本的な検討を要するこ 野生宿風紀の研察物質が建た20 原生宿風紀の研察物質が建た20 原生宿風紀の研察物質が建た20 所製施派につき協議が行はれるこ **西州の各班長音唱でおいては、さ** なる銀行に成合の指面を予したが て、笠面する二大國策の緑斑胆力 る十九日四時地方長官骨筋を明い 問題を開いて断工省、企技院関係 所日を奈岡超洲部長會原に當て、 る。配案が長及び歴練部長の合同 心技術版を開き、古らに廿七、 なってゐる、今回の歌怒なび

以際的指数についても中央の施策 方針が一部にわたうて明かにされ きに紹かれた地方異質価値よりも かくて原長會競の完了をもつて かされ、 数字的にも容粉處理の らに一層暗施頭の具象性が時間

協議命を皮切りに批一日東海地 は東東施策総行の第一線官職を は東東施策総行の第一線官職を 成本の大学では、一次の一級官職を である。

日れたのに附公を内で市場上場以来は明めている。
田・包芸芸別茶の原登を記せている。
田・包芸芸別茶の原登を記せている。
「位」を食物している。
のでは、また日本マメネ
町・田・包芸芸別茶の原登を記せている。
は、日本のただ。その内地様では極い間の
一からた。その内地様では極い間の
一からただ。その内地様では極い間の
一からただ。その内地様では極い間の
一からただ。その内地様では極い間の
一からた。その内地様では極い間の
一方など、その内地様では極い間の
一方など、その内地様では極い間の
一方など、その内地様では極い間の
一方など、その内地様では極い間の
一方など、その内地様では極いる。
一方など、その方針を明めたしたので、日 他
「おけい」という。 ので、一般生が完璧を忠いして、大は、悪生が完璧を忠いして、世子のでは、世子のでは、世子のでは、世子のでは、世子のでは、世子のでは、世子のでは、世子のでは、世子のでは、明明のでは、明明のでは、明明のでは、 こと大切なのは続後一郎 だけでは足らぬ。歌じて歌 あげ、また特理所を記念 分の順もない民防空の点 動船を、飛行機を、別丸 ち上るといい行き方も安 國版の購入、それはみない 金融の批出、東京金、下京 響を強くするとも大切だが

つて帰取照似力質離長額属下城中午後四時市貿を開き削場一致をも マモの成果は大いに期待される。 でつて神器県取に修行されるで、 でつて神器県取に修行されるで、 でつて神器県取に修行されるで、 將抵似に決足、吻ちに内部大民気 成命令を受けた米子市南は廿四日(米子成路)内第大田より市長指 齋藤干城中將 米子市長に決定

に 種間形を取り上げて記さいかでも、 しる へ たば多くの活際が耐彩される、 しる かし 投機器 一 主辞で行場に 吹ぶん と する人が めれば、その人の失訊 も 動し大なるものがあらう、何と たれば株式 そのもの 小性 がいます 酵母だすい の 門 行歌が 株式 取引 研解 だり、 の門 行歌が ないればなくなるからやめる 密され得なくなるからである

· 藤田德太郎 田 篇 胤

中佐

歷史是日本女性。勤勞無數東亞世界。歷史的構造經數

國民映画

津村秀夫

「チューリツヒ廿四日同比」 ジュ ネープ來位しな同赤十字配は廿四 ・日本の協力・ 威謝を表明 英國赤十字社 どを加いのは武士部に反す が、非政権が市、または近 利軍の破扱によれば死例 思に於ける損害は軽だしく、伊太と、俄に照くなるのだと見えて婚 に判然とわかったが、その であり、時間・力のけがお 四大、西海、南海流、西河 る人間できじめ、阿認 を取えるの的状を引してあ 人類を知る時がなくまぶ てある人間と思新と8日 してゐる人相手が武波して 復せ、また頭似を百燥

一致って臭れる浴がないやう 機よ一來るなら來て見ろり されたりしない用心が脱れ る米四の可憐などに別かれ たい人は大にはあれては、 やるかも知れぬといれない ないから、なほどのより い。それだけに、我々は

高地で でける 粉 题

七日日ドイツチェ・アルゲマイ・成するドイツの潜水脈に隣し十一成するドイツの潜水脈に隣し十一

子言 大学を表しています。 出荷 际 生

告 (輯特) 際 及世元 澤 口森木 威三 俊 雄郎異篤

催告

それ 

集團學合出 一個時間を含くして 第 20年まり 慮の唄李 女野ふ香 水香 の性南蘭 宏闡 戀の國が 流出流

双一方敵側の対数水酸防烈法なる場合が提供されたことにもよるが

ものが何等絶對的なものでないこ

斯の如き烈歌な戦果の向上は、一

に敵のシチリヤ作教と言ふ特殊の

即ち同戦の報ずるところによると

きである。

会とんでしまってある。もり感激ないが不明書をしたり、表調に改画でしたののできるはないで表調に改画できるいできるはないで表記さいで表記さいで表記さいで表記さいます。

闊達明朗 が最適性

の、不適を事前に心配してゐる向

藝の郊成には無級と財幣が除けて

して、我学は必ず然に歩げる

個口整備と頻散の必要は記

があるが、航空民になってやれば

際には操縦者より同衆者の投々は

教々の数の許へ突進して來て下

を持つ整備氏の一と名(無検路 勝)】 さい【京事―幾情は成つて出解

のとして注目されてゐる

とても頭劈の度が強い

これは航空機関の理解に容易と されば航空機関の理解に容易と ないのだ、一通りの経験の さば 路のて 味でも よいのだ、

のは一寸困る本、腕中部みを融め、話に流れ景

に細かな奴、これだネ

誰でもなれる航空兵

おされるとの例を表の部門を設しては別野の独教所をが生れ、続けるべきだが、「の別のが対して今」という。 新藤 (株)の野島も辿がして今

きつだ、爆撃にも悪不

るる。いまの神器質の問題だが極

各の方はとんと普及してゐないの

て來るのだ、近代教育とは否へ就

藤田 航空機を神秘化して一

一致職者に飛ばするとに全力を無

と思ふのにブツつかる。この様

小笠原 数多の香瓢を飲剤

官員作戦のほどつた、配破へ出る

マラ

るるが、この神経質なのがそれで

笠村 航空の動かが取って

に無れだ、別に乗るうて來てくれ

感はれてゐる、最早や理解は抜き

ジャウ 大江 賢次著

を征く旗

濱岡航空及戦はいま無烈に

の具合が思い、

の整備兵がゐて十分な手入をして

でね訳を地基の驚苦

防空の蜿蜒の減へを限めるとともに許される当、質格ある者は連接見智士官制度に降って新代線に一刻も早く別得き解を叩き決策は南方と入もに支那大陸の上にも展がってゐることを範疇したければならぬ

わが本土を狙つてあるが、緩みなきわが猛撃の徹底的筋緩の前に容易に出路の機を許さぬが断じて極限されぬ状態であり、

ースアメリカンB二式などが、二日機を撕し長鼻、器林の瑜珈と入もに小規模ながらも物行機、書具工事の設盤によって小説眈々スチルウェル中將の単下と改き指揮部化シェンノートが解す性ももともにカーチスを四〇・コンソリデーナッドB二三・ノスチルウェル中ド その後頃に毎月二、三十枚の地頭を除し今春に入るや印形版理第十航空隊を開化して第十四航空部隊を職成、印練文脈選軍司令官 風驚を引受けて育てあげる残滅た 戦場にやがて覇を展げるであらう

任をもつてゐる、まるで自分の

村上機関整幅はひとくむつ

脚な出格を持つてゐる

機の整備に強り操業者に関係との

務を果し得る竪脈長となり得る。

もの成りでやれば断じて立張な丘 かしいものゝ様に考へられるが、 の不扱の精神で押し通してゐる

自分は保役で機械をやり内燃機関

笠村 心理をようか知られ

身館は入験して來ると頑

はまた図金な身間と頭脳からのみ い数能力がなければ酸じてやり扱 【〇〇基地にて村岡特派員設】駅心着年をもつて歌観侵略して電源法地とし東西侵略の挪威とした最大な南方路倒

府織服會長の順列で陣机と

機応要目を決定求つこの一大回 国際力明鮮吸収では大阪生活は一

の切換を叩に難ふ近無式をけ五日 歩において物心生活

金額解説、瞬間において一層で製



**郷軍第五分會總會** 

とに閉他、明雪に先だち十一時か 町向大門二丁目、永朔町一、二丁目 上級原門長、同分母に肥ける明治 石事報告、會計報告、真田分布を取り、幹部の政治を表別、外のの改善表表に大いで

赞

戦ふ女學生「利」既

る対勝と取る風味の季節だと展開

の観察集を競く観光の影響だと思謝。人共示派にもる政策な響を持ち寄われ物と戦や観光の影響だと思謝。人共示派にもる政策な響を持ち寄

白石遞信局長着任

即は不動の姿勢、横へ戦、立跳など

は、
效生の
無が
な色成り
に心なし

者として便宜なる決戦生活を確立

銃後の赤賊の一蹴を披露した

の国みで豫定殿西、同分院からは、同分院からは、

決戰生活宣誓式

大阪赤十字が院に着いた

**側附近、飲りめぐまれぬ同院財士 | 寄と増献に勝ちぬく大東部の道域のまみで強定総選、同分院からは | (概含)・家庭も競場も取場だっ貯** 

神かけて決戰生活

一千五百萬・大前の誓ひ

曜の姿をしんみりとアリランが流 らも何む歌歌場も参加、静かな日

甘殿朝鮮放送城會長、傑木例如社 田工務課長以下各課長班记各係長 長、その他官民多数の出近へを受 個局長は新貝司政局長、題信局津三年半ぶりで京城に帰った白石家 【成安】 東部十個民衆の大阪米英 で我が銃後の成力と必國の京城で 咸安の金屬回收

認識するのだと語では廿一日から

を握って來るべき日の孤き家國の地均工品に多加、體手に称、微梁 はを目さして炎素と取びつくまに 威謝一杯の

も廿一日から向う十日間府内劉安 関してゐる。「然即劉松校で 」より實施し より覚施してゐるが一般勢頂を希 まで両式場において毎日午後三時 夏季館成土用都古は廿日より月末

館で開催した同省は東記で位配技

のターを催し、また

鹼石Ѫ洗

る朝鮮通信が技能練りあり取時は受通信の

朗 燿

地

二級中間の超路が飛二級の事

、大阪赤十学が完と登いを訪問しせしめてゐる
「大阪東社園館」廿江日午後一時一別を突破し係員は勿論 藝能團大阪赤十字病院慰問 に暴行することとなった 午前八時続雲神趾大前で決撃生活 建艦基金献納 国際盟盟軍其際國際政治國列の下

左の通り、第四川和文タイプライ圏を目ざす一時でもある。入気名

八月三日 八月 日

大 仁 京 邱 川 城

公 公

(解說 時任数

府

一、大日本統劍道型 福 永

中 佐

かゆみにスカサル

戰時商業經濟重要問題解說 第100 第10

大のりり香気共和学の高工社 中外商工社 中外商工社 中外商工社 中外商工社 中外商工社 中外商工社

十六億、又航空機械総政金として野話金として一千四百六十九個六 一手一層十六鐵を巡察盟に寄附、 大田、英陽照際盟では廿三日建

> 八月七日 八月五日 八月四日

公

畲 囶 欿 育 足

花柳病專門 厘松醫院

販費所が扱いつころ日 發行所 京城東南大之10 昭当出版

**韓島 房** 

堂 堂 堂

釜山 大

・ 小茶練次(茶選集) 2、松本次(京城) 2、松本次(京城) 2、松本次(京城) 2、松本次(京城) 2、松本次(京城) 2、松本本が、1000年 1000年 1 ◆和文シザー無難通信 1、小网 勝口 (木翔) 2、三阪芳崎 (京 版) 3、温祭越永 (木畑) ・和文タイプライター歌等通信 大阪芳夫(河印)

(京城) 2 異次明

取技は大質の自層とされ絵図の辺ら東京小石川の後級関戦即とて君き男子が紫地で水に挑む和船」協関を得て廿五日午前八時世

大日本銃劍道振興會京城聯

海洋戦技和船を操る

しき動物は海洋民族の血潮をゆす

いて地下各大脳、高等別が、中等

金田印刷製本所品製工

止りを没るできれば、日本電の大幅の方式では、一人の一人の一人が表現さればない。

にお

謝近火御見舞

心技一體の秘境

全鮮電信競技會火花散る

意は明日の飛得を蹴る気機をみせ

|個Uた

明

原達東方医院

翻集

振りまく愛嬌

般高級玩具

大毎AI型・大毎GI型(在庫豐富)文部省制定型各學年用(在庫豐富)

模型航空機材販賣

受傷(1、勝原ハジメ(京城)○和文タイプライター貼附現字紙

視般と能能を指頭の一點に興中し、火花と敬る鬼信技術の主勢は心技

開発の欧江人政協下漸路で増々し 後級。第三回海の記念日を解る時

く則行、振岡日本の特技を賠拠して午後四紀大母の森を閉ざた

◇和文タイプライター無砂児渡受 一緒山縣成(京城) 米英撃滅に起て

きのふ學徒航空隊起大會

パー・七段市の発恩ザリー

双間に贈って関い割世に明日なき 【東京電話』 ビルマ郷立の大伝を

は『歌ふ日本に大いに別んでお父

●新東公司 前月超品 電話®<B:□番

航空教育品株式會社 朝鮮 配 給 所 <sup>田族地の川〇川へ 8</sup> <sup>田族地の川〇川へ 8</sup>

酸すのだ。と個類な希望を抱きつさんと頂けぬやう明日のビルマに、

うはるぐーラングーンハイスター

帶小商內 競兒 科科科

大東醫院 成六二四条 成名 金岩 成名 金岩 成名 金岩

「東京作品」「東連よう」を超せ、関ウ部の後数ならびに放送物質の として大日本地行物資品生配容 同や部の後数ならびに放送物質の



世を踏んだ、南田県道部自然尾少に大東明常東海文化制具、岡陽県 東京羽田郡行場に飛來大京の第一東京羽田郡行場に飛來大京の第一 ルから父長官の明ウイン

紀は帰岸だ、願じて征く、断じやあないか、国団非常の秋に理 國の辩と切つて何祭倫いないお て戦つ、これだ、邸総の簡對も サリー超がウイン・ハン酒の手をモンモンニュの開発らの出迎祖に 英威下半島明塔移住送の保健航保・ に交って先駐の邸友モンフラベ・ りきながら現はれた問君は低 無器村へ仁の手

鑑る 性病科 強騎軍等 競騎軍等 競騎軍等 競勝 大脚 大脚 494

科島縣流病院

わきが射点無

日本醫藥研究所

シノの

●頭痛』

家に一個で (デリス剤) 30 ℃60 + ン 相打型品

を開くが、特にカシスペック氏病 一は関人のみならず、移氏が原を控へて ・ 開稿するので、像氏が原を控へて ★ 書圖鷹推盟聯鮮朝力總民國 ★ 村龍濟客 三木 弘 穀館

地位的(QA) 1四) 地位的(QA) 1四)

を説明させてゐるのがり(別に珠と中華一千行に言る大紹明が加り回朝間間付に押く詩人が、財物

が一貫上で強調してみる動である。国しい問題時、労働なる情が力が上間上で強調してみる動である。 七九に若れてみのように答うののが、明月上には一てなる動である。 国しい問題時、労働の領域といった人民の大阪 時間がよりた人民の大阪 はいました。 一個国際がよりたれた会社、かいの状況を利用生性な過ぎません。

同域形態が一丁目六七・規模は城二八大三一番 でい作品……」と機構してるとなりの合か一貫して他間し 文 省 監

決取に知ち上つた、動に展軍強備

戦闘帝東京事務所で判明してゐる 名の経彩を放つてゐる、既に朝鮮 【東京電話】全日本の恩生がはア

を完全に駆倒し去つてゐるのだ、一の十一名をかぞへ、このほかにも

相偕数に選するものと見られてる

るので、その助役その応行は飲め

一種国景脳なるもので只管に内地

沸る荒鷲志願 半島學生も十一名

既に米學生軍を壓倒

期日を示し早くもアメリカ副生軍 生のみにても二萬人を突破するの を0倍し、振覧への大陽生、高家 職務者は立ちところに採用領定数 失敗への関志は押りに押つてその

不安征く近が歴生選に明かれるやの生、歴史特別類様見留士官とし

白村約煜君

へる、整備は旺盛な研究心と選 なく身間を観へれば戦事解決だ 小野の間が断じて健全でな

版は含ふにあらず流し込みだ。こ

なに果ずにはどうしても身間の頑 でなく虹波勢を突破して任務を確 ない。そんな師所級の方は是非一た我が子をと思はれよう。無理も 思私が摂続する荒蹊で大容を旋回 らう、特に阿親方は折貨数が古せ 笠村 わがいまる話へがける 必ず共成してくれるだらう

見て敷いたら離もボロく説を流 し活躍する若黙の悪ぐましい姿を 恩生十名、今回は特に形成を飲ね で間は省各地の半に人用協協 て風土病カシムベツク氏図の関査 無料診院班を輸出すこととなった 行は始木数授ほが助政恐、

者と西川川州風土河の研究財政の

機能と提取、八月四日から月 を目指し朝鮮移圧協門では城 本語 水原四水巴木山二丁巴公生河 水原四水巴公本山 大原四水巴公生

皆さんが安服 できます





西班科三年,近海班山多)

東京原語

團

放日

お送演奏 で演

室ス

日空本襲

学校、化兵學校 を表生的影響を を表生的 を表生的影響を を表生的影響を を表生的影響を を表生的影響を を表生的影響を を表生的影響を を表生的影響を を表生的影響を を表生的 を表生的影響を を表生的 を表生的

將

隆

七一合

日本 ニュース 明明 明明 日本 ニュース 明明 明明 日本 ニュース 明明 明明 日本 ニュース 明明 日本 ニュース 明明 日本 ニュース

賢

配金というのは 配金というなどで の数本というなどで のまたというなどで のまたというなど のまたといっなと のまたというなど のまたというなと のまたというなと のまたと のま

書きの機能ス